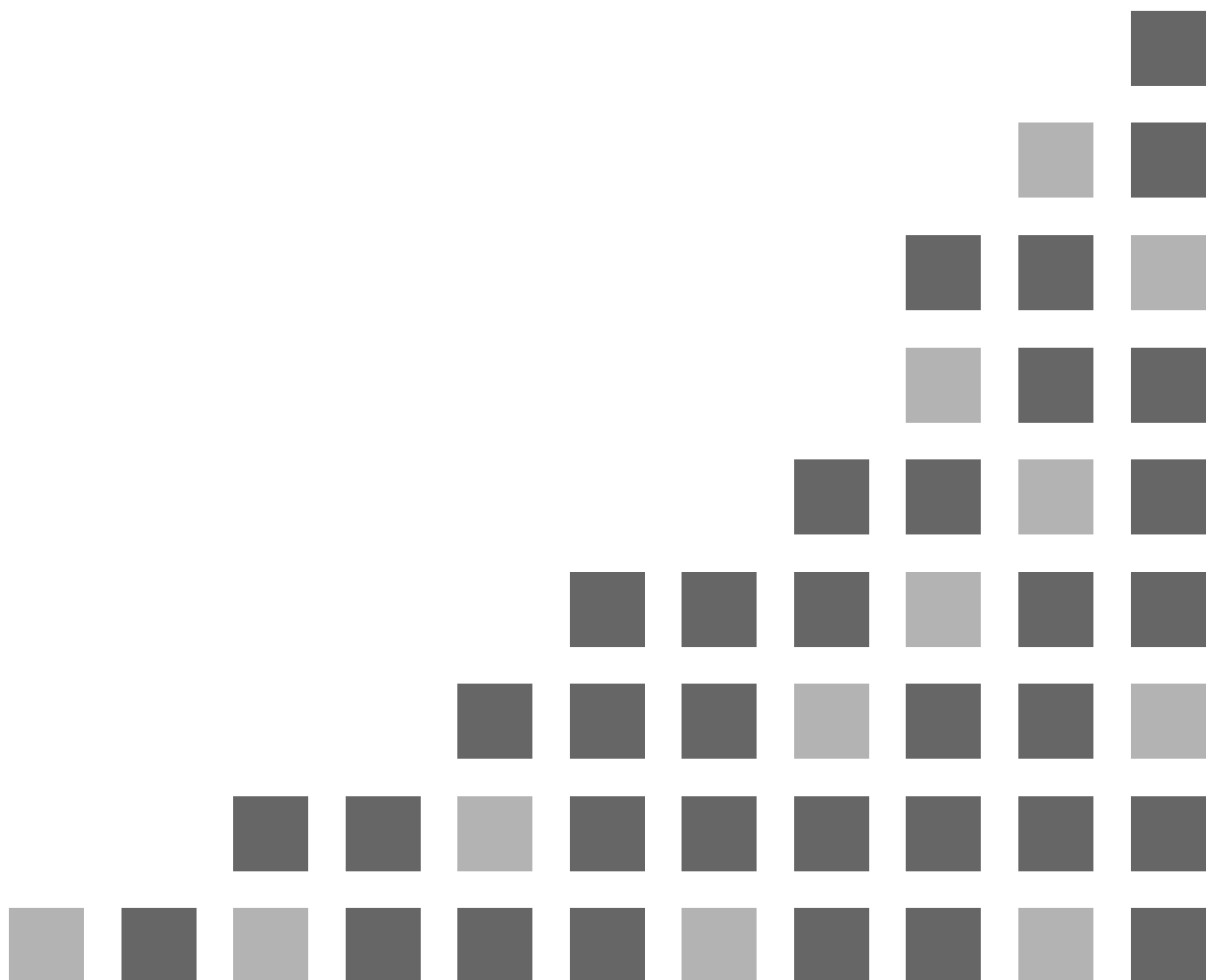


操作説明書

アップグレードソフトウェアキー

品番 **AJ-SFU3100G**



目次

商標について	3
ご使用前に	3
はじめに	4
使用上のお願い	5
主なオペレーション	6
準備	7
ワイヤレスモジュール (AJ-WM30) を取り付ける	7
無線 LAN 機能を有効にする	7
ネットワーク設定を行う	9
P2 カムの無線 LAN 設定をする	9
無線 LAN 機能を動作させる	10
プロキシストリーミング機能を動作させる	11
プロキシストリーミング状態の表示	11
コンピューター / 携帯端末の無線 LAN 設定をする	13
コンピューター / iPad と接続する	20
iPod touch / iPhone と接続する	24
用語解説	25
対応モデル	25
同梱品一覧	25
セキュリティに関するお願い	26
アフターサービス	26

商標について

- SD ロゴは、登録商標です。
- SDHC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における商標または登録商標です。
- 本書では、下記 OS（オペレーティングシステム）を、「Windows 7」と表記しています。
Micorsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Apple、Mac、Mac OS、MacBook、iPhone、iPod touch、iPad、QuickTime、Safari は、米国 Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems, Inc の商標または登録商標です。
- Wi-Fi および WPA2 は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- VLC Media Player は、Video LAN org の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご使用の前に

- 本書は、コンピューターおよび携帯端末側の無線 LAN に関する設定が完了していることを前提に説明を行っています。これらの設定方法については、お使いの機器の各メーカーへお問い合わせください。
- 本機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機能を使用した結果生じた損害に対しましても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。
- メモリーカードカメラレコーダー（以下 P2 カム）の操作については、P2 カム（品番：AJ-HPX3100G）の取扱説明書を読み、操作を理解していることを前提に説明していません。
- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示していません。

■ 本書内のイラストについて

- P2 カム本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらも SD メモリーカードと記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード（別売の AJ-P2C064XG など）を「P2 カード」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

■ 使用許諾契約書について

- 本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに付属の「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みください。本製品をご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、「キーコードが収められた袋」を開封せずに、ご購入いただいた販売店までご連絡ください。
お客様が「キーコードが収められた袋」を開封された場合は、この使用許諾契約に記載の内容に同意されたものとみなします。

■ キーコードについて

- キーコードは本製品の再登録の際に必要となりますので、関連付けた P2 カムのシリアル番号と合わせて大切に保管してください。

はじめに

無線 LAN アップグレードソフトウェアキー AJ-SFU3100G は、P2 カム AJ-HPX3100G の無線 LAN 接続オプション機能を有効にするアップグレードソフトウェアキーです。

無線 LAN は、IEEE802.11g および IEEE802.11n に対応しています。

- カメラステータスの確認
- サムネール画像の確認
- プロキシ再生
- プロキシファイル/クリップ管理情報のダウンロード
- メタデータの表示 / 編集
- メタデータ (ショットマーク / テキストメモ) の付与 / 削除
- プロキシストリーミング*
- カメラリモートコントロール (REC 操作のみ) *

* AJ-HPX3100G のバージョンが 30.40-00-0.00 以前の場合、本機能を有効にするためにアップデートが必要です。

詳しくは、下記ウェブサイトのサポート&ダウンロードページを参照してください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

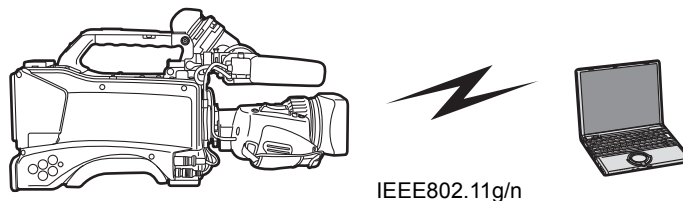
英語：<http://pro-av.panasonic.net/>

<NOTE>

- 別売りのワイヤレスモジュール (品番: AJ-WM30) が必要です。市販のワイヤレスモジュールは取り付けないでください。
- プロキシファイルをコンピューターへダウンロードする際には、ダウンロードするディスクの容量が十分に残っていることをご確認の上、操作してください。
- プロキシ再生、プロキシファイル/クリップ管理情報のダウンロード、プロキシストリーミングには別売りのビデオエンコーダーボード (AJ-YDX30G) が必要です。
- プロキシストリーミング機能のアップデートをした場合、ネットワーク設定の再設定が必要となりますので、「ネットワーク設定を行う」(9 ~ 19 ページ) を実施してください。またアップデート前に SD メモリーカードに保存したネットワーク設定 (9 ページ) は、変更が必要ですのでアップデート後に再度 P2 カムで保存してください。
- プロキシストリーミング機能のアップデートをした場合、ブラウザの履歴 / クッキーの削除が必要です。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<http://pro-av.panasonic.net/>



使用上のお願い

■ ワイヤレスモジュール（品番：AJ-WM30）の取扱説明書の「ご使用になる前に」と「使用上の注意点」をよく読み、内容を十分理解してご使用ください。

■ 本製品では誤操作を防ぐため、下記の制限をしています。

サポート規格	IEEE802.11g/n ※ IEEE802.11aおよびIEEE802.11bは使用できません
通信周波数	2412 MHz ~ 2462 MHz（1ch, 6ch, 11ch） ※ 12ch以上は使用できません。

■ 海外での取り扱いについて

AJ-WM30は日本国内でのみ使用することができます。
世界各地の電波に関する法律に準拠するため、下記4種類のAJ-WM30を販売しています。
各製品に対応した国・地域以外では使用できませんのでご注意ください。

製品名称	使用可能地域
AJ-WM30MC	中華人民共和国
AJ-WM30P	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、アルゼンチン、ペルー、台湾
AJ-WM30E	EU加盟国、EFTA加盟国、オーストラリア、ニュージーランド、ロシア、ウクライナ、サウジアラビア、UAE、クウェート、オマーン、エジプト、南アフリカ共和国、韓国、フィリピン、マレーシア、シンガポール
AJ-WM30	日本

■ その他、各国で使用する場合には下記にもご注意ください。

- フランスでは、屋外での使用が禁止されています。

■ ワイヤレスモジュール（品番：AJ-WM30）はP2カム（品番：AJ-HPX3100）の後方にアンテナが向いた状態で取り付けられます。

そのため、P2カムの前方（レンズ側）では電波の強度が下がります。Proxy映像の再生やダウンロードなど、高速な伝送を行う場合にはP2カムの後方（バッテリー側）、左右45°以内の範囲にコンピューターやiPad/iPod touch/iPhoneなどの端末を配置してお使いください。

主なオペレーション

接続に必要なコンピューター環境

- はじめに、お使いのコンピューターに無線 LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。
- ワイヤレスモジュール (AJ-WM30) とコンピューターを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。
- すべての無線 LAN アダプターやコンピューターに内蔵されている無線 LAN アダプターでの動作を保証するものではありません。

チェック1: 無線LAN の設定

◆ 無線 LAN 機能が内蔵されているコンピューター

- 無線 LAN が有効になっていますか。

◆ 無線 LAN 機能が内蔵されていないコンピューター

- 無線 LAN アダプターが正しく認識されていますか。
- 無線 LAN アダプターが有効になっていますか。
- 事前に無線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、無線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

チェック2: コンピューターの設定

- セキュリティ (ファイアウォール) ソフトや無線 LAN アダプターのユーティリティソフトがインストールされていると、P2カムと接続できない場合があります。
- ネットワークブリッジを設定していませんか。
- ファイアウォールは無効になっていますか。

必要なシステム構成

無線 LAN を使用するには下記の条件を満たすコンピューターが必要です。

■ Windows パソコン

Microsoft Windows® 7 Professional 32/64 bit

■ Macintosh パソコン

Mac OS X v10.6.x、v10.7.x *1

*1 プリインストールもしくはクリーンインストールしたものの以外は保証いたしません。

■ iPad/iPod touch/iPhone *2

iOS v5.0

*2 iPod touch および iPhone の第3世代以前の機種では HQ および SHQ モードで記録された映像の再生ができません。

- 動作確認バージョンについては、最新情報を下記ウェブサイトにて発信しています。

<NOTE>

- 上記のシステム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された場合の動作保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 管理者アカウントまたは標準ユーザーアカウントのユーザー名でログオンしてから、ご使用ください。Guest アカウントのユーザー名では、ご使用になれません。

■ WEB ブラウザについて

- WEB 制御を行うには WEB ブラウザが必要です。
- 対応ブラウザについては、最新情報を下記ウェブサイトにて発信しています。

■ メディアプレーヤーについて

- プロキシ映像の再生には QuickTime が必要です。
- RTP モードでのプロキシストリーミングには、VLC Media Player が必要です。
- 動作確認バージョンについては、最新情報を下記ウェブサイトにて発信しています。

■ Java ランタイムについて

- コンピューターでは、カメラステータスの表示に Java ランタイムを使用しています。このパネルの表示には Java が必要です。
- 動作確認バージョンについては、最新情報を下記ウェブサイトにて発信しています。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<http://pro-av.panasonic.net/>

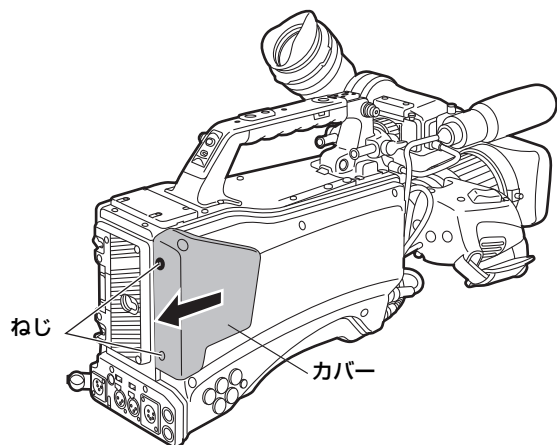
上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

準備

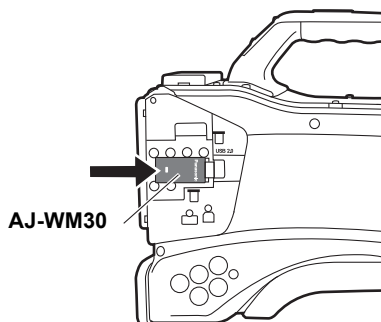
P2 カムにコンピューターや iPad/iPod touch/iPhone を接続するための準備をします。

ワイヤレスモジュール (AJ-WM30) を取り付ける

- 1 P2カム (品番: AJ-HPX3100G) 本体のねじ2本を外し、カバーをP2カム後方にスライドさせながら取り外す



- 2 USBポートにワイヤレスモジュール (品番: AJ-WM30) をしっかり取り付ける



- 3 1で取り外したカバーを、元に戻してねじ2本で固定する

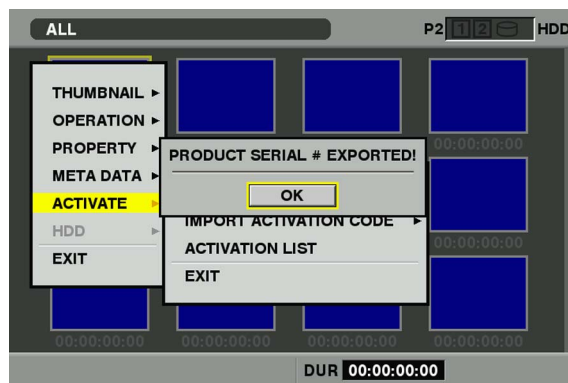
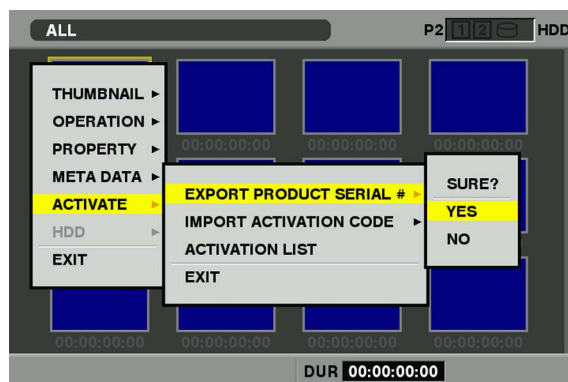
<NOTE>

無線LAN使用時には、上記作業で取り外したカバーをきちんと取り付けた状態で使用してください。

無線LAN機能を有効にする

お買い上げ後にP2カムとコンピューターを接続する場合、30桁のアクティベーションコードをP2カム本体にインポートして機能を有効にしてください。アクティベーションコードはアクティベーションコード発行サイトにアクセスし、表示される手順に従ってP2カム本体からエクスポートした機器情報と本製品に同梱のキーコードを認証させることで入手できます。なお手続きには、SDメモリーカード (P2カムでフォーマットしたもの) と、SDメモリーカードスロットを搭載したコンピューター、およびインターネット接続環境が必要です。

- 1 P2カム本体の機器情報をSDメモリーカードにエクスポートする
P2カム本体を起動し、SDメモリーカードを挿入してTHUMBNAIL ボタンを押し、[ACTIVATE]-[EXPORT PRODUCT SERIAL #] - [YES]と選択すると、SDメモリーカード内にprivate/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv というフォルダが作成され、SERIAL.LSTというファイルにP2カムの機器情報が保存されます。



[SET] ボタンを押してダイアログ表示を閉じます。

- [ACTIVATE] メニューが表示されない場合、AJ-HPX3100G 本体側ファームウェアのアップデートが必要です。ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトより P2 のサポートページをごらんください。
日本語: <http://panasonic.biz/sav/>
英語: <http://pro-av.panasonic.net/>
- ファームウェアのアップデートの方法は、AJ-HPX3100G 本体の取扱説明書の「本機搭載のファームウェアのアップデート」(200ページ) をご参照の上、アップデートを実施してください。

- アクティベーションコードを入手したい P2 カムに対して、1 枚の SD メモリーカードで手順 1 の操作を繰り返すことで、最大 100 台分の機器情報を保存できます。アクティベーションコード発行サイトは SD メモリーカードに保存された複数台数の機器情報をすべて読み取り、複数台数のアクティベーションコードを一括発行することができます。
- エラーダイアログが表示された場合は、SD メモリーカードの挿入状態、書き込み禁止設定、空き容量などを確認して下さい。
- 予期しないエラーを防ぐためにも、P2 カムでフォーマットした SD メモリーカードの使用をお勧めします。

2 SDメモリーカードをP2カム本体から抜き、コンピューターに挿入してブラウザから下記のアクティベーションコード発行サイトに接続し、サイトに表示される手順に従ってアクティベーションコードを入手する

日本語： http://panasonic.biz/sav/actkey_j

英語： http://panasonic.biz/sav/actkey_e

<NOTE>

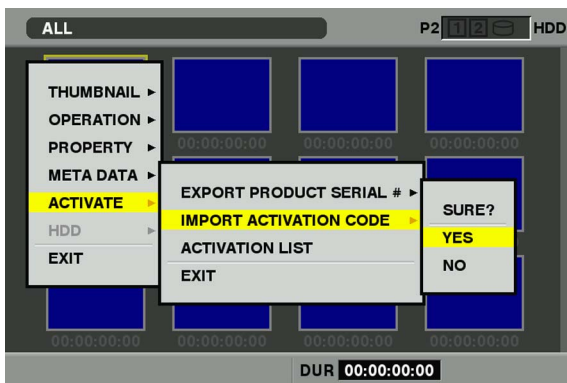
- 手順 1 で作成した private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/act/ フォルダは手順 3 で必要になりますので、上記フォルダを削除したり、SD メモリーカードをフォーマットしないでください。
- SD メモリーカード内の、private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/act/ フォルダの中に ACTIVE.LST というファイルがすでに保存されている場合、ご使用のブラウザによってはファイル名が自動的に変更される場合があります。上記フォルダに ACTIVE.LST ファイルがないことを確認してから、保存してください。

3 入手したアクティベーションコードを、手順 1 で作成したSDメモリーカード内の、private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/act/の中にサイト内の指示に従って保存し、コンピューターからSDメモリーカードを抜く

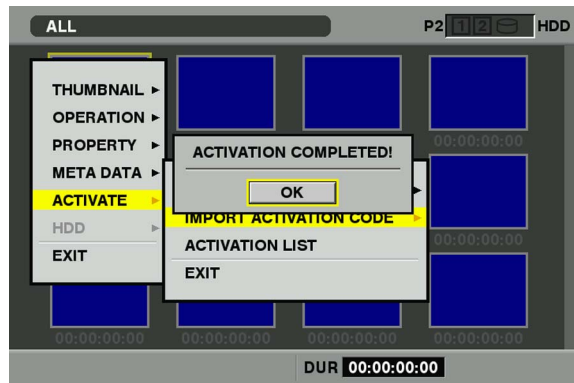
<NOTE>

コンピューターやOSの種類によっては、SDメモリーカードを抜くのに事前操作が必要な場合があります。

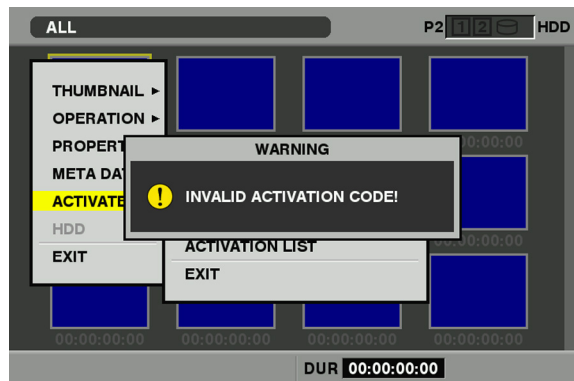
4 P2カム本体にアクティベーションコードを保存したSDメモリーカードを挿入し、THUMBNAIL MENU ボタンを押して、[ACTIVATE] - [IMPORT ACTIVATION CODE] - [YES]と選択する



有効化(アクティベーション)が完了すると [ACTIVATION COMPLETED!] とメッセージが表示されます。



有効化(アクティベーション)が失敗した場合には下記メッセージが表示されます。



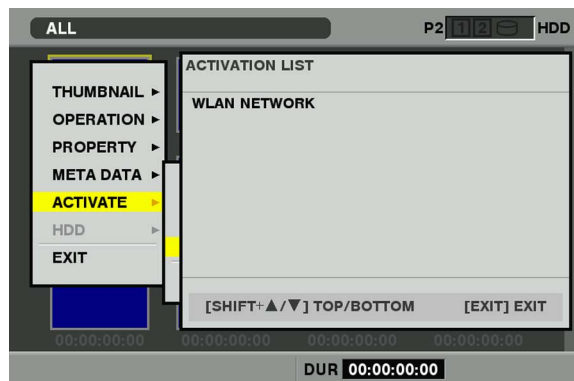
<NOTE>

- エラーダイアログが表示された場合は、SD メモリーカードの挿入状態、手順 3 で保存したアクティベーションコードのファイル (ファイル名: ACTIVE.LST) の保存場所などを確認してください。
- AJ-HPX3100以外のP2機器の機器情報や本製品以外のキーコードを用いて取得したアクティベーションコードではアクティベートできません。

5 P2カム本体を再起動する

<NOTE>

- 上記操作の途中で、SD メモリーカード内データに対して上記手順以外の操作を行うと、有効化手続きができなくなる場合があります。
- 有効化(アクティベーション)が完了すると、無線 LAN ネットワーク設定に必要なメニューが表示されるようになります。
- 有効化した機能は、[ACTIVATE] - [ACTIVATION LIST] メニューで確認できます。



ネットワーク設定を行う

無線LANで接続するには次の手順で設定してください。

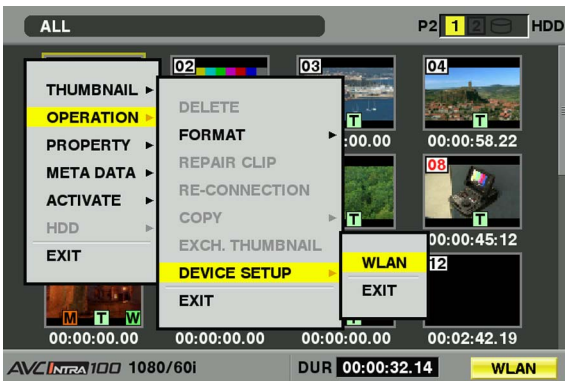
1. P2カムの無線LAN設定をする
2. P2カムの無線LAN機能を動作させる
3. コンピューター / 携帯端末の無線LAN設定を行う

P2 カムの無線 LAN 設定をする

無線LANの設定を行う

下記の手順により、無線LAN設定画面を開き設定を行います。

- 1 THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面を開いた後、MENU ボタンでメニューを開き、[OPERATION] - [DEVICE SETUP] - [WLAN] を選択する

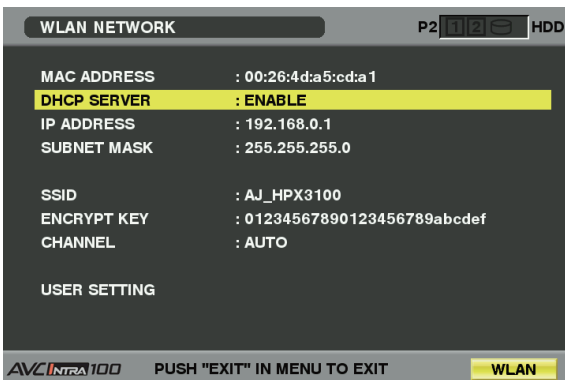


<NOTE>

P2カムの無線LAN機能が有効化(アクティベーション)されていないときは、[WLAN]項目は表示されません。「無線LAN機能を有効にする」(7ページ)に従ってP2カムの無線LAN機能を有効にしてください。

- 2 はじめて無線LANの設定を行う場合は、もう一度MENU ボタンを押して[INITIALIZE]を選択し、初期化設定処理を行う
初期化設定処理が終わると、出荷設定が表示されます。

- 3 必要に応じて各項目を設定する



設定項目：

項目名	内容
MAC ADDRESS	無線LANアダプタのマックアドレス (変更できません)
DHCP SERVER	DHCP SERVER機能の利用設定 (工場出荷設定：ENABLE) ENABLE：DHCPを利用します DISABLE：DHCPを利用しません
IP ADDRESS	IPアドレス (工場出荷設定：192.168.0.1)
SUBNET MASK	サブネットマスク (工場出荷設定：255.255.255.0)
SSID	ネットワーク名 (SSID) (工場出荷設定：AJ_HPX3100)
ENCRYPT KEY	WPA2暗号化キー (下記参照) (工場出荷設定：01234567890123456789abcdef)
CHANNEL	使用チャンネル (工場出荷設定：AUTO)
USER SETTING	ユーザー設定画面に移動

<NOTE>

- 設定項目によっては、入力可能な文字や値などが制限される場合があります。
- DHCPサーバーからのアドレス割り当て範囲は設定されたIPアドレス値+15の範囲です。
[240]以上の数字を設定するとIPアドレスが正常に割り当てられないことがありますので、必ず[0]～[239]の数字を設定してください。
例：P2カムのIPアドレスが[192.168.0.1]の場合、端末には[192.168.0.2]から[192.168.0.16]が割り当てられます。
- 使用チャンネルは、AUTO か ch1、ch6、ch11 の選択です。チャンネル選択した場合、優先的に設定したチャンネルを割り当てますが、ご使用環境によっては設定値と異なるチャンネルが割り当てられることがあります。
- WPA2 暗号化キーは、以下の入力のいずれかにより設定されます。なお、WPA2 暗号化キーは、下記の内容に従って、必ず入力する必要があります。

設定内容	入力内容
文字列	8～63文字の文字列
16進数	64桁の16進数

- MENU ボタンを押すと、[USER SETTING]、クライアント設定画面の[USER PASSWORD]を除いた項目の設定内容をSDメモリーカードに保存したり、保存済みの内容を読み出したりすることができます。
 - 保存の場合、メニューから[SAVE TO SD CARD]を選択すると保存ファイル名入力用のダイアログが表示されます。初期状態では月日時分にあたる数字の名前が表示されますが、必要に応じて修正し、OKを押すと設定内容がファイルに保存されます。
 - 読み出す場合、メニューから[LOAD FROM SD CARD]を選択すると、保存済みファイルの一覧が表示されますので、読み出したいファイルを選択し、SET ボタンを押します。
- 手順 2 の初期化設定処理を行うと、[MAC ADDRESS] 以外の設定内容は工場出荷設定に戻ります。

- 4 設定項目中の[USER SETTING]を選択し、ユーザー設定画面を表示する

5 必要に応じてメニューから [NEW USER] を選択し、ユーザー登録を行う

<NOTE>

- ユーザー登録は、WEB ブラウザからの接続（20 ページ）の際に必要となります。
- ユーザー登録ダイアログでは、THUMBNAIL MENU ボタンにより項目間を移動できます。
- ユーザー名は 31 文字以下です。
- パスワードは 6 文字以上、15 文字以下です。
- 工場出荷設定では、[guest] が登録されています。（パスワードは [p2guest]）
- 登録可能なユーザー数は 3 人です
- メニューからは、その他に、登録ユーザーの削除（DELETE USER）、およびパスワードの変更（CHANGE PASSWORD）の操作が可能です。手順 2 の初期化設定処理を行うと、ユーザー設定は工場出荷設定に戻ります。ユーザー名やパスワードがわからなくなった場合には、初期化処理をすることで対処できますが、[DHCP SERVER]、[IP ADDRESS]、[SUBNET MASK]、[SSID]、[ENCRYPT KEY]、[CHANNEL] 設定も工場出荷に戻りますので、これらの設定内容を控えた後で、初期化処理を実行してください。

6 EXIT ボタンを 1 回、または 2 回押してサムネール画面に戻る

<NOTE>

- 設定項目によっては、サムネール画面に戻るまで内容が反映されません。
- 設定反映処理のため、サムネール画面での操作が可能になるまでに時間がかかる場合があります。

7 THUMBNAIL ボタンを押し、サムネール画面を終了する

<NOTE>

WPA2 暗号キーおよび USER SETTING は、セキュリティ対策のため、工場出荷設定値から必ず変更してください。

無線 LAN 機能を動作させる

P2 カムで無線 LAN 機能 MENU は、設定メニューの SYSTEM SETTING ページの [SYSTEM MODE] 画面にある [WLAN MODE] 項目で設定します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
WLAN MODE	OFF ON ON(+REC)	無線 LAN 機能の ON/OFF を選択します。 OFF: 無線 LAN 機能を停止します。 ON: 無線 LAN 機能を使用します。 ON(+REC): 無線 LAN 機能を使用します。 無線 LAN 接続された機器側から、P2 カムを記録スタート/ストップするリモートコントロールが可能です。 「P2 Browser」の Camera Control パネル（21 ページ）を参照してください。
-	C U F	-

無線 LAN の動作状態は USB ランプもしくは MODE CHECK 画面で確認できます。

USB ランプ	MODE CHECK 画面	無線 LAN 動作状態
緑点灯	"WLAN" 点灯	正常に動作しています。
緑点滅	"WLAN ERR" 点滅	正常に動作していません。

正常に動作していない場合、ワイヤレスモジュールの取り付けなどを点検してください。

<NOTE>

- P2 カムの無線 LAN 機能が有効化されていないときは、[WLAN MODE] 項目は表示されません。「無線 LAN 機能を有効にする」（7 ページ）に従って P2 カムの無線 LAN 機能を有効にしてください。
- 設定メニューの SYSTEM SETTING ページの [OPTION MODE] 画面の [ACCESS LED] 項目を "OFF" にすると、P2 カードアクセス LED とともに無線 LAN 動作状態を示す USB ランプも消灯します。
- 有効化（アクティベーション）を行う前の P2 カムで、設定メニューの FILE ページの <SD CARD READ/WRITE> 画面から WRITE で書き込んだ SD メモリーカードのデータを、有効化（アクティベーション）した P2 カムで読み込んだ場合、[WLAN MODE] の設定が [OFF] に変更される場合がありますので、メニューを確認して再設定してください。

プロキシストリーミング機能を動作させる

P2カム本体で撮影した映像を、無線LANで通信しているコンピュータや携帯端末にストリーミングで送信する機能を動作させるには、P2カムで設定メニューのSYSTEM SETTINGページの[PROXY SETTING]画面にある[STREAMING MODE]項目を設定します。

項目/ データ保存	可変範囲	備考
STREAMING MODE	OFF RTP HTTP	プロキシストリーミング機能のモード選択をします。 OFF :プロキシストリーミング機能を停止します。 RTP :RTPモードを選択します。 HTTP :HTTPライブストリーミングモードを選択します。
C U F		

可変範囲の___はプリセットモードです。

また、同画面のREC MODE(HD)項目または、REC MODE(SD)項目で、HQ 2CH MOVまたはLOW 2CH MOVのプロキシモードを選択します。上記以外のモードではストリーミング動作できません。

```

< PROXY SETTING >
REC MEDIA      : P2&SD
REC MODE(HD)   : HQ 2CH MOV *
TC SUPER       : UPPER
PROXY DISP     : ON
→STREAMING MODE : RTP
    
```

* HQ 2CH MOVまたはLOW 2CH MOVを選択

各モードの特徴は下記のとおりです。無線LAN接続するコンピュータや携帯端末に合わせて選択してください。

RTPモード：

コンピュータでストリーミングが可能です。相手先は1台のみです。

HTTPモード：

携帯端末 (iPad/iPod touch/iPhone) に3台まで同時に送信できます。コンピュータには対応していません。

<NOTE>

- ストリーミング対応するためには、ビデオエンコーダーボード (AJ-YDX30G 別売) の取り付けが必要です。
- STREAMING MODE 項目を設定するには、無線LAN機能の有効化 (アクティベーション) が必要です。(7ページ)
- P2カムで、プロキシ記録とPRE RECORDING機能の両方を動作する設定にしている場合、ストリーミング動作できません。
- STREAMING MODE 項目でプロキシストリーミング機能を動作させるようにすると、サムネール表示からのPRE RECORDING機能は動作しません。
- ストリーミング映像には、遅延が発生します。STREAMING MODEの種類やコンピュータや携帯端末の種類によって、ストリーミングされる映像の遅延時間が異なります。
- 記録の開始、終了時や無線環境によっては、ストリーミング映像が乱れる事がありますが故障ではありません。
- ストリーミング関連のメニュー変更、ビデオ入力信号の切り換え、ゲンロック乱れなどでストリーミングが停止した場合、ページの再読み込みを実行してください。

プロキシストリーミング状態の表示

メニュー画面での状態表示

P2カムの設定によりRTP/HTTPのいずれかを選択してもストリーミング動作できない場合、メニューの[PROXY SETTING]画面の下部に、エラーメッセージが表示されます。

```

< PROXY SETTING >
REC MEDIA      : P2&SD
REC MODE(HD)   : HQ 2CH MOV
TC SUPER       : UPPER
PROXY DISP     : ON
→STREAMING MODE : RTP

STREAMING ERROR!
SEE MODE CHECK DISPLAY
    
```

状態確認画面の表示 (MODE CHK 機能)

プロキシストリーミングの動作状態はMODE CHECKのSTATUS画面とFUNCTION画面で無線LANの動作状態とともに、エラー要因の確認ができます。P2カム本体のMARKER SEL MODE CHK/MENU CANCELスイッチを手前に引くたびに、以下のように画面表示が切り替わります。

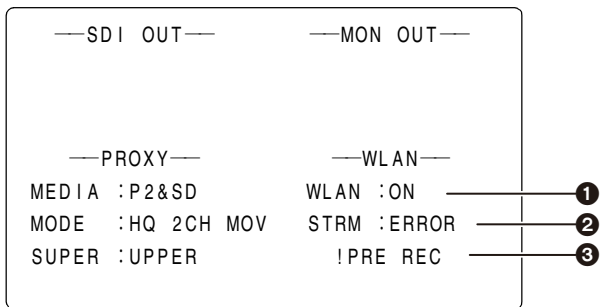
[STATUS] → [ILED] → [FUNCTION] → [AUDIO] → [CAC] → [USER SW STATUS] → 通常画面

MODE CHECKのSTATUS画面の表示例

STRM ERR	②
WLAN	①

表示項目	表示内容	表示したときの状態
① 無線LANの動作状態		「無線LAN機能を動作させる」(10ページ)
② プロキシストリーミングの動作状態	STREAM	WLAN表示が点灯 (無線LANが正常に動作) している状態で、ストリーミング出力動作が可能なとき
	STRM ERR	WLAN表示が点灯 (無線LANが正常に動作) している状態で、ストリーミング出力ができないとき
	(無表示)	● 無線LANが正常に動作していないとき (WLAN表示が消灯、またはWLAN ERR表示が点灯) ● メニューでプロキシストリーミング機能をOFFに設定しているとき

■ MODE CHECKのFUNCTION画面の表示例



表示項目	表示内容	表示したときの状態
WLAN	無線LANの状態およびプロキシストリーミングの状態表示	
	① WLAN : ***	無線LANの状態表示 (***)部 ON : 正常に動作している ERROR : 正常に動作していない OFF : メニューのWLAN MODE項目をOFFに設定している 無表示 : 無線LAN機能が有効化されていない
	② STRM : ***	ストリーミングモードおよび状態表示 (***)部 RTP : RTPモード選択時 HTTP : HTTPモード選択時 ERROR : ストリーミング動作できない状態 OFF : メニューのSTREAMING MODE項目をOFFに設定しているとき 無表示 : 無線LAN機能が動作していない、またはビデオエンコーダーボード (AJ-YDX30G 別売) が取り付けられていないとき
	③ STRM : ERROR 要因表示	ストリーミング動作できない要因を表示 !PROXY MODE : PROXYの設定がストリーミング対応フォーマットでない場合 !PRE REC : PRE RECORDING機能をONに、プロキシを記録する設定にしている場合

コンピューター / 携帯端末の無線 LAN 設定をする

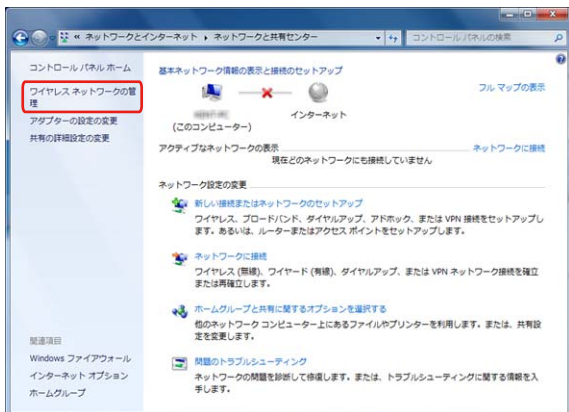
P2カムと接続するコンピューターおよび携帯端末の設定を行います。

<NOTE>

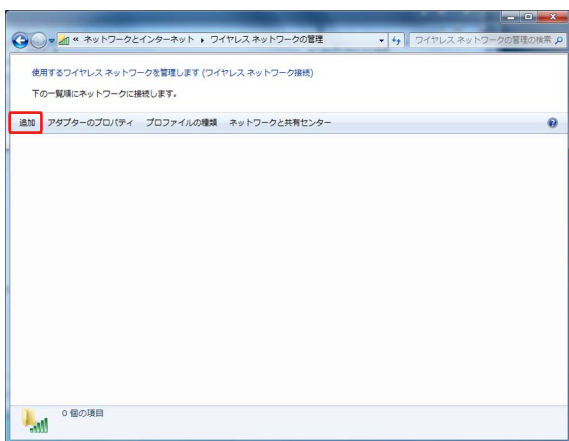
- コンピューターおよび携帯端末が無線 LAN 接続可能な状態であることを確認してください。確認方法は、それぞれの取扱説明書をご確認ください。
- 本製品は、IEEE802.11a および IEEE802.11b で接続することはできません。
- 本製品の無線 LAN の暗号化方式は、WPA2 のみサポートされています。

Windows 7 の設定をする

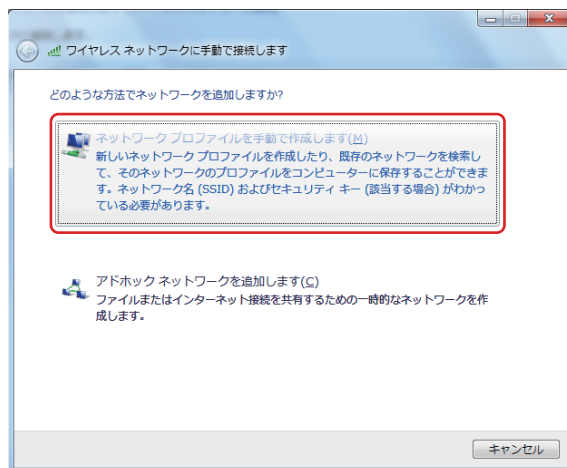
- 1 P2カム本体の電源を切る
- 2 Windows の [ネットワークと共有センター] 画面を表示する
[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークと共有センター]の順にクリックしてください。



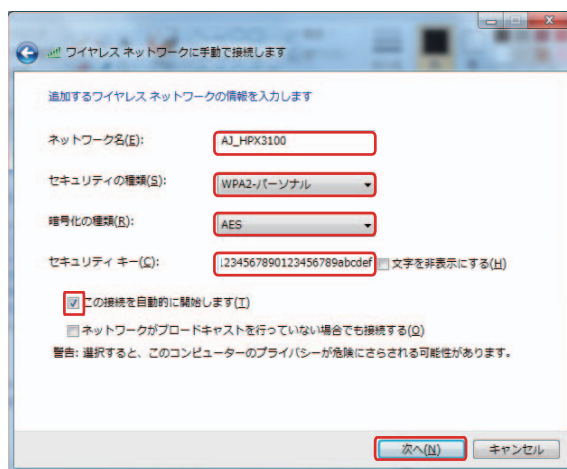
- 3 [ワイヤレスネットワークの管理] - [追加]をクリックする



- 4 [ネットワークプロファイルを手動で作成します (M)] をクリックする

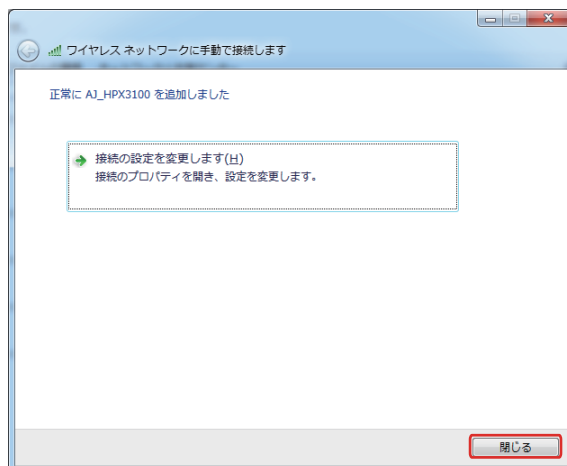


- 5 下記画面で無線 LAN の設定をして、[次へ]をクリックする

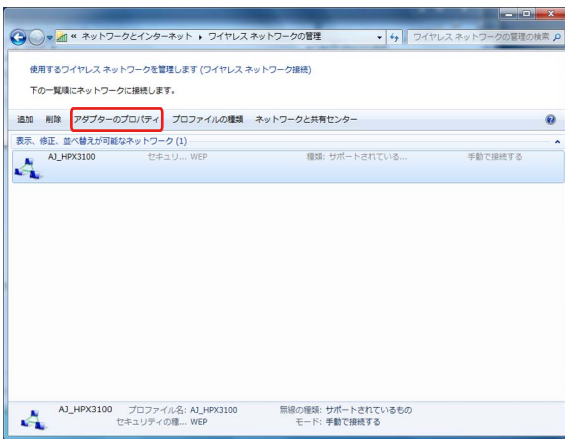


- [ネットワーク名 (T)]: P2 カム本体で設定した SSID (工場出荷設定: AJ_HP3100) を入力します。
- セキュリティの種類: [WPA2- パersonal] を選択します。
- 暗号化の種類: [AES] を選択します。
- セキュリティキー: P2 カム本体で設定した「Encrypt Key」を入力します。
(工場出荷設定: 01234567890123456789abcdef)
- [この接続を自動的に開始します (T)] にチェックを入れてください。

- 6 [閉じる]をクリックする



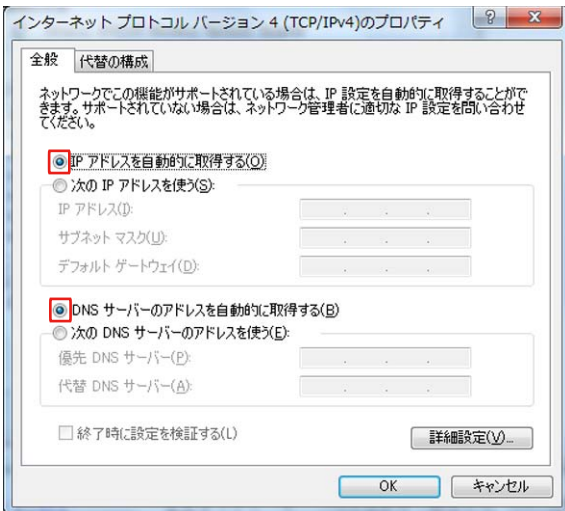
7 [アダプターのプロパティ]をクリックする



8 [インターネットとプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、P2カムのDHCP設定によって下記どちらかの設定を行う

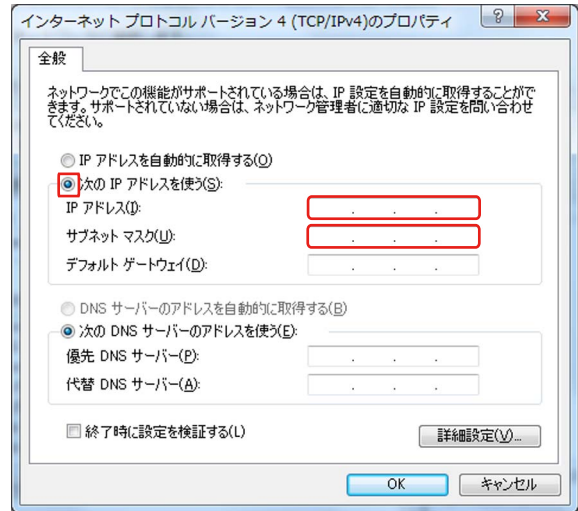
■P2カムのDHCP設定が[Enable]の場合

- [全般] タグ:[IPアドレスを自動的に取得する(O)]と [DNSサーバーを自動的に取得する(B)] を選択する
- [代替の構成]:[自動プライベートIPアドレス(T)]を選択する



■P2カムのDHCP設定が[Disable]の場合

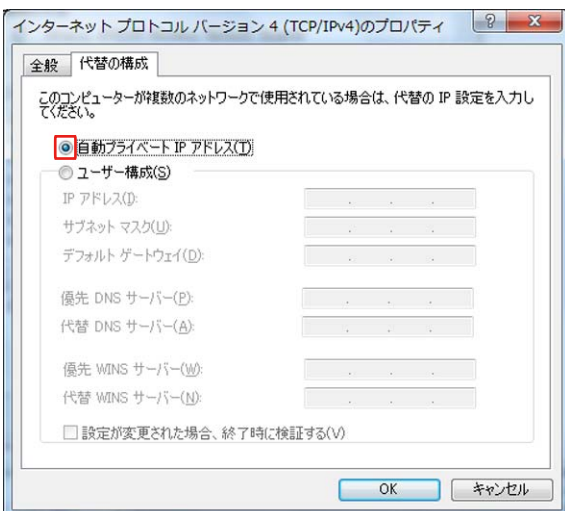
- [全般] タグ:[次のIPアドレスを使う(S)]を選択し、下記設定を入力する
 - IPアドレス:
 - ネットワークアドレス: P2カム本体と同じアドレス
 - ホストアドレス: P2カムおよび周辺機器と重ならないアドレス
 - サブネットマスク: P2カム本体と同じ値
- [デフォルトゲートウェイ]、[優先DNSサーバー]、[代替DNSサーバー]は必要ありませんので、空欄のままとしてください。



9 [OK]を2度クリックする

10 P2カム本体側の電源を入れる

11 [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続]をクリックし、接続状態を確認する



<NOTE>

- P2カム本体の電源を入れてから無線LANが動作するまで数秒かかりますので、接続状態のチェックはしばらく待ってから行ってください。
- 接続状態が制限付きアクセスと表示されることがありますがP2カムとは正常に接続されています。

Mac OS X の設定をする

1 P2カム本体の電源を入れる

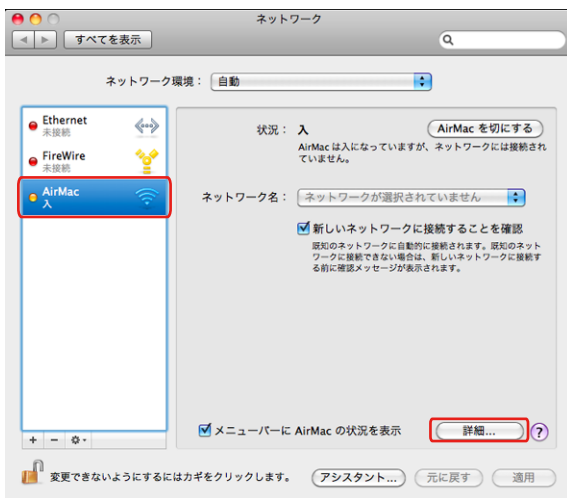
- 2 メニューバーのAirMac の状況アイコンから、[ネットワーク環境設定を開く...]をクリックする
アイコンがメニューバーに表示されていないときは、[アップル]メニュー - [システム環境設定]をクリックして、[ネットワーク]をクリックします。



<NOTE>

文中の「AirMac」表示は、ご使用されるMacOSによっては、「Wi-Fi」と表示されます。

- 3 サービスからAirMacを選択し、右下の[メニューバーにAirMacの状況を表示]の[詳細]をクリックする

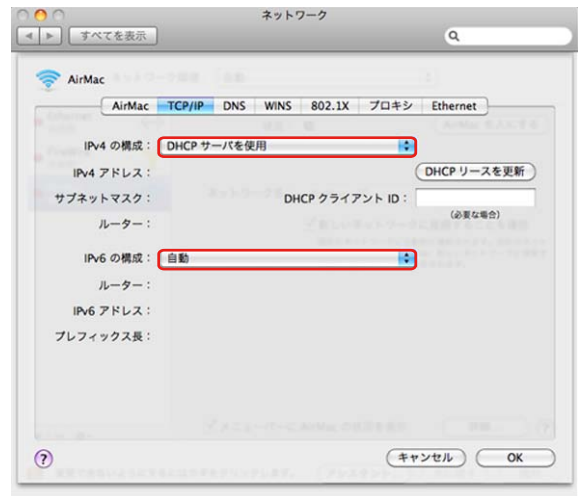


詳細項目からTCP/IPを選択します。

4 P2カム本体のDHCP設定に応じて下記どちらかの設定を行う

■ P2カムのDHCP設定が[Enable]の場合

- [IPv4の構成]: [DHCPサーバーを使用]を選択します。
- [IPv6の構成]: [自動]を選択します。



■ P2カムのDHCP設定が[Disable]の場合

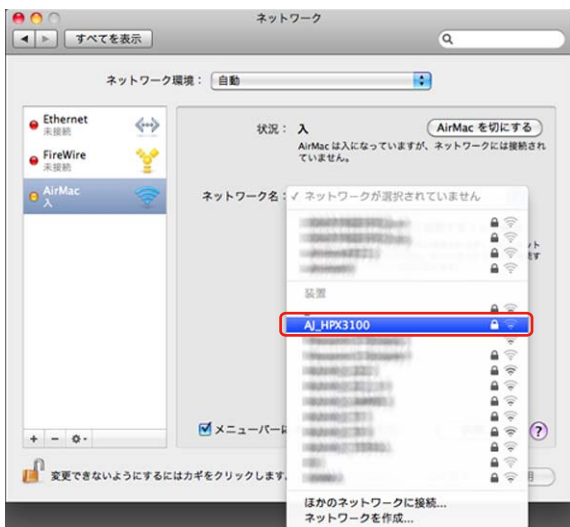
- [IPv4の構成]: [手入力]を選択し、下記設定を入力します。
 - IP アドレス:
 - ネットワークアドレス:
P2カム本体と同じアドレス
 - ホストアドレス:
P2カムおよび周辺機器と重ならないアドレス
 - サブネットマスク:
P2カム本体と同じ値
 - ルーター: 不要ですので、空欄のままとしてください。
- [IPv6の構成]: [自動]を選択します。
- [デフォルトゲートウェイ]、[優先DNSサーバー]、[代替DNSサーバー]は必要ありませんので、空欄のままとしてください。



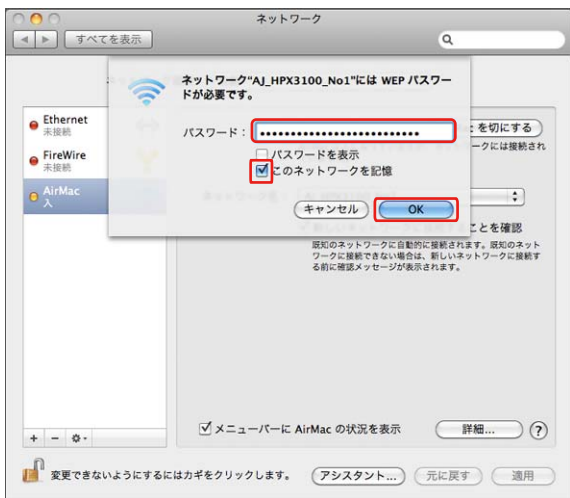
5 [ネットワーク名]項目で対象ネットワーク（工場出荷設定：AJ_HPX3100）を選択する

<NOTE>

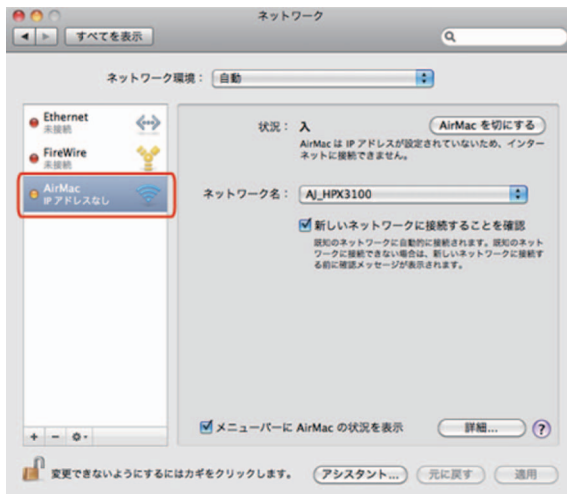
- 状況が[切]の場合は[AirMac を入にする]をクリックして状況を[入]にしないとネットワーク選択できません。
- 対象のP2カムがWLAN有効で電源が入っていないと選択肢に現れません。



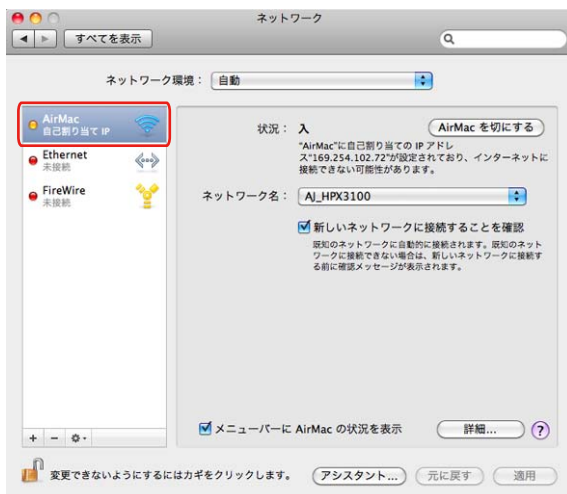
6 パスワード要求に対して、P2カムで設定したWPA2暗号化キー（工場出荷設定：01234567890123456789abcdef）を入力し、[このネットワークを記憶]にチェックを入れてOKをクリックする



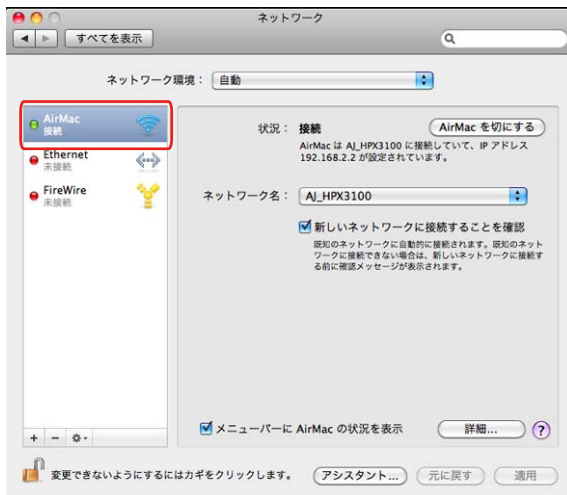
7 入状態からIPアドレスなしに状態が変化するが、そのまま待つ




8 自己割り当てIPになるが、そのまましばらく（約1~2分）待つ



9 接続になるのを確認する



**携帯端末 (iPad/iPod touch/iPhone)
(DHCP により自動で IP アドレスを取得する
場合)**

- 1 P2カム本体の電源を入れる
- 2 iPod touchのトップ画面から[設定] - [Wi-Fi] - [ワイヤレスネットワークを選択・・・]を開き、P2カムのネットワーク名が表示されていることを確認する
- 3 接続したいP2カムのネットワーク名の右側の  ボタンをタップし、[IPアドレス]の[DHCP]を選択する

iPod touch / iPhone の場合



iPad の場合



- 4 [Wi-Fiネットワーク]に戻って、鍵アイコンをタッチする
- 5 パスワード (工場出荷設定 : 01234567890123456789abcdef) を正確に入力し、[Join]をタップする
画面左上にWi-Fiアイコン  が表示されれば接続完了です。

iPod touch / iPhone の場合




iPad の場合



携帯端末 (iPad/iPod touch/iPhone) (手動で IP アドレスを取得する場合)

1 iPod touchのトップ画面から[設定] - [Wi-Fi] - [ワイヤレスネットワークを選択...]を開き、P2カムのネットワーク名が表示されていることを確認する

2 接続したいP2カムのネットワーク名の右側の  ボタンをタップし、[IPアドレス]の[静的]を選択する

iPod touch / iPhone の場合



iPad の場合



3 ネットワーク設定をする
以下の5項目の設定欄がありますが、IPアドレスとサブネットマスクの2項目のみ設定します。

- IP アドレス
iPod/iPod touch/iPhone に割り当てるものです。
下記設定を入力します。
ネットワークアドレス：P2 カム本体と同じアドレス
ホストアドレス：P2 カムおよび周辺機器と重ならないアドレス
- サブネットマスク
P2 カム本体と同じ値を設定してください。
- ルーター (アドレス)
必要ありませんので、空欄のままとしてください。
- DNS (アドレス)
必要ありませんので、空欄のままとしてください。
- 検索ドメイン
必要ありませんので、空欄のままとしてください。

iPod touch / iPhone の場合



iPad の場合



4 [Wi-Fiネットワーク]に戻る

- 5 パスワード（工場出荷設定：**01234567890123456789abcdef**）を正確に入力し、**[Join]**をタップする
画面左上にWi-Fiアイコンが表示されていれば接続完了です。

iPod touch / iPhone の場合



iPad の場合

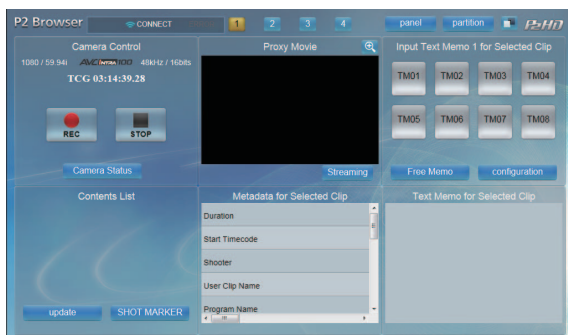


コンピューター／iPadと接続する

WEB ブラウザからアプリを起動する

P2カムとコンピューター/iPadのネットワーク接続設定が完了したら、以下の手順でWebブラウザを起動します。

- 1 Web ブラウザを起動する**
Windows 7の場合：
[スタート]-[すべてのプログラム]-[Internet Explore]をクリックします。
Mac OS Xの場合：
[移動]-[アプリケーション]をクリックし、一覧から[Safari]をダブルクリックします。
iPadの場合：
ホーム画面にある[safari]アイコンをタップします。
- 2 Web ブラウザにP2カム本体のIPアドレスを入力する**
Webブラウザの画面上部のアドレス入力欄にP2カムで設定したIPアドレス（工場出荷設定：
http://192.168.0.1）を入力し、P2カムにアクセスします。
- 3 Web アプリ「P2 Browser」が起動する**
[USER NAME]と[PASSWORD]の入力画面が表示されますので、P2カムに設定した[USER NAME]（工場出荷設定：guest）と[PASSWORD]（工場出荷設定：p2guest）を入力します。下図のような画面が表示されると接続完了です。



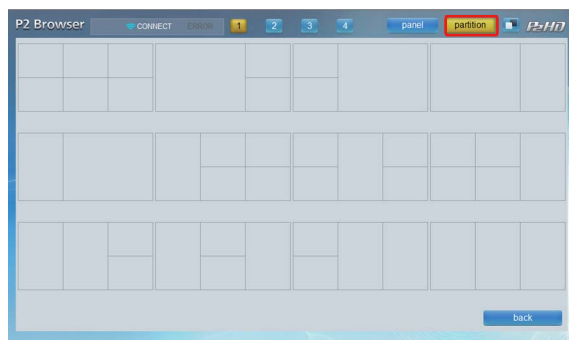
レイアウトをカスタマイズする

コンピューター/iPad から起動されたP2 Browserは、画面表示をカスタマイズする機能があります。

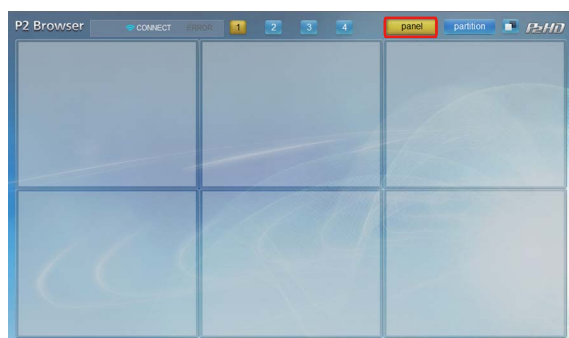
P2 Browserは、1つの機能を画面上の1つのパネルと呼ばれるGUIに割り当てて、そのパネルを12種類のパターンから選択し画面上にパネルをレイアウトします。

パーティションの変更

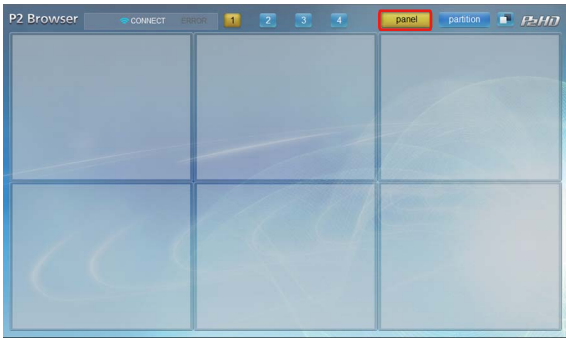
- 1 「P2 Browser」を起動後、「Partition」ボタンをクリック（または、タップ）する**
下記のような画面が表示されます。



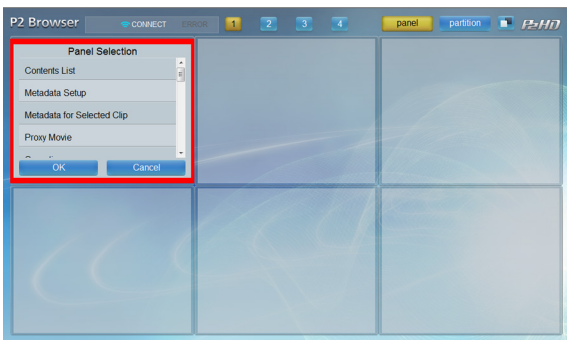
- 2 上図の12個のパターンから1つを選択する**
「P2 Browser」のレイアウトが選択したレイアウト画面に切替ります。



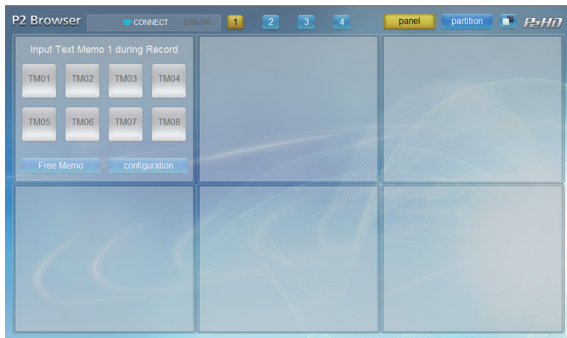
- 1 “Panel” ボタンをクリック（または、タップ）する
下記のような画面が表示されます。



- 2 表示を変更したいパネルをクリック（または、タップ）して選択する
パネルに割り当て可能な機能の一覧表示がされます。



- 3 表示したい機能を選択する
一覧表示から1つ選択して、“OK” ボタンをクリック（または、タップ）すると、選択された機能に対する画面が表示されます。



- 4 その他のパネルも設定する
2～3の操作を繰り返し、その他のパネルに必要な機能を割り当てていきます。

- 5 パネルの設定を終了したら“Panel” ボタンをクリック（または、タップ）する

それぞれのパネルは下記1～12の中から選択することができます。
詳細な操作説明は下記ウェブサイトをご覧ください。
日本語： <http://panasonic.biz/sav/>
英語： <http://pro-av.panasonic.net/>

1. Camera Status/Camera Controlパネル

本パネルを選択すると、P2カムの状態表示画面とリモートコントロール画面の切り替えが可能となります。

Camera Statusパネル

P2カムの状態が表示されます。

- タイムコード
P2 カムが保持しているタイムコードジェネレータの値を表示します。
- 記録フォーマット
P2 カム本体のシステムモードやビデオコーデック、撮影記録レートなどが表示されます。
- MEDIA の残量／使用量
P2 カムに装填された P2 カードの残量や使用量を表示します。
残量（“remain”）と使用量（“used”）を切り替えて表示することができます。
表示単位は「分」です。
- バッテリー残量
P2 カムに装填されたバッテリー残量が表示されます。

Camera Controlパネル

P2カムのリモートコントロール（REC操作のみ）画面が表示されます。

<NOTE>

リモートコントロール機能を有効にするには、P2カム本体の設定が必要です。（10ページ）

2. Camera Infoパネル

レンズやフィルタなどP2カムの撮影に関する設定値や状態を表示します。

“FOCUS” 欄に表示されているボタンをクリック（または、タップ）すると、表示単位を「feet」と「m」で切り替えることができます。

<NOTE>

LENS TYPE、IRIS、FOCUS、ZOOMの値はデジタル制御方式のレンズをご使用の場合のみ表示されます。

3. Contents Listパネル

P2カムに挿入されているP2カードに記録されたクリップのサムネール一覧を表示します。

“update” ボタンを押すと、サムネール一覧を最新の状態に更新します。

“SHOT MARKER” ボタンを押すと、選択されたクリップにショットマークの付与・解除ができます。

<NOTE>

- 表示されるサムネールは、コンピューターの場合、記録済みクリップの最新 300 個まで、iPad の場合、記録済みクリップの最新 100 個までとなります。
- P2 カム本体でサムネールを表示している時は、“SHOT MARKER” ボタンによる操作ができません。
- P2 カム側で記録、再生などの操作を行っている場合は“update” ボタン、“SHOT MARKER” ボタンによる操作ができません。
- プロキシ再生する場合は、サムネール画像をクリック（または、タップ）してください。
- P2 カム本体で記録終了後、サムネール画像が正常に表示されない（例えば “×” 表示）ことがあります。この場合は、パネル内の “update” ボタンではなく、ブラウザ自身の更新ボタンを押して更新してください。

4. Proxy Movie/Streamingパネル

本パネルを選択すると、プロキシ再生画面と、プロキシストリーミング画面の切り替えが可能となります。

Proxy Movieパネル

Contents Listパネルで選択したクリップのプロキシ映像を再生します。

<NOTE>

- P2 カードにプロキシが記録されていない場合は再生できません。ビデオエンコーダーボード (AJ-YDX30G 別売) を搭載し、プロキシを記録する設定を行ってください。
- 複数のクリップが連結しているクリップの場合、それぞれのクリップ単位の再生になります。このようなクリップの場合、“prev”、“next” ボタンが表示されますので、それぞれのボタンを押すと、直前のクリップ、直後のクリップの再生を行うことができます。

Streamingパネル

P2カムで撮影中の映像が、確認できます。

<NOTE>

- P2 カム本体に、ビデオエンコーダーボード (AJ-YDX30G 別売) が必要となります。プロキシストリーミング対応するための P2 カム本体の設定は、AJ-YDX30G の取扱説明書を参照してください。
- P2 カム本体で再生している場合や、サムネールを表示している場合は、プロキシストリーミングによる映像確認はできません。
- P2 カム本体のストリーミングモードの設定が、コンピューターの場合は RTP モード、iPad の場合は HTTP モードの時に、プロキシストリーミングによる映像確認が可能となります。(11 ページ)

5. Contents Downloadパネル

選択したクリップのプロキシファイルまたはクリップの管理情報のXMLファイルをダウンロードすることができます。

“update” ボタンを押すと、サムネール一覧を最新の状態で更新します。

“XML” / “PROXY” ボタンでプロキシファイルとXMLファイルのどちらをダウンロードするかを切り替えることができます。

<NOTE>

- この機能は iPad では選択できません。
- ダウンロードする記録メディアの残量が十分残っていることを確認してから実行してください。
- ファイルダウンロードは、まずダウンロードしたいファイルのサムネールの上にマウスポインターを移動して左クリックしてサブウィンドウを開きます。サブウィンドウ内にそのファイルに含まれるクリップのサムネールが表示されますので、目的のサムネール上でマウスを右クリックし、ブラウザのダウンロード機能を使ってダウンロードしてください。ただし、ブラウザによって機能が異なることがあります。
- ダウンロード中に、P2 カム本体で、記録・再生・早送り・巻き戻しを行ったり、P2 カードを抜き差しした場合は、ダウンロード処理が途中で終了し、正常なファイルが生成されません。ダウンロード中に上記操作をしないでください。また、ダウンロード後にファイルを再生して正常にダウンロードされているかを必ず確認してください。記録開始時点の映像が再生されれば正常にダウンロードされていると判断できますので、クリップの最後まで確認する必要はありません。正常に再生できなかった場合は、再度ダウンロードしてください。

6. Metadata for Selected Clipパネル

サムネール表示画面で選択されたクリップの各種メタデータが表示されます。また、各メタデータをクリック (または、タップ) することで、メタデータ変更パネルが表示され、メタデータの変更ができます。

<NOTE>

P2カム本体が記録、再生などでP2カードにアクセスしている場合やサムネールを表示している場合は、メタデータの変更はできません。

7. Metadata Setupパネル

クリップに付与する各種メタデータを変更します。変更したい項目を選択するとメタデータ変更画面に切り替わり、メタデータの変更ができます。変更した値は、次に記録を開始したクリップから反映されます。

<NOTE>

P2カム本体が記録、再生などでP2カードにアクセスしている場合やサムネールを表示している場合は、メタデータの変更はできません。

8. Input Text Memo [#] during Recordパネル

記録中のクリップにテキストメモを付与することができます。

左下ボタンで入力モード “One Touch” / “Free Memo” を切り替えることができます。

“One Touch” モード時は、あらかじめ設定しておいた8つのボタンの内容がテキストメモとして付与されます。

“Configuration” ボタンでボタンの名称や配色、付与するテキストメモ内容を設定することができます。

“Free Memo” モード時は、任意のテキストメモが付与できます。“submit” ボタンで入力したテキストメモが付与されます。プロキシストリーミング画面を見ながらテキストメモを付与する場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

このパネルは3種類用意しており、パネル名の[#]の位置に表示する1~3の番号で区別できます。複数のパネルで同時に使用することができます。

9. Input Text Memo [#] for Selected Clipパネル

Contents Listパネルで選択したクリップにテキストメモを付与します。

<NOTE>

- P2 カム本体側で記録、再生などの操作を行っている場合は、記録済クリップにテキストメモを付与することができません。
- “One Touch” モードおよび “Free Memo” モードについては「8.Input Text Memo [#] during Record パネル」をご参照ください。

10. Text Memo during Recordパネル

記録中のクリップに付与されたテキストメモの一覧を表示します。

11. Text Memo for Selected Clipパネル

Contents List パネルで選択したクリップに付与されているテキストメモの一覧を表示します。

また、プロキシ映像がプロキシ再生画面に表示されている場合、テキストメモ一覧の中から選択したテキストメモをクリック (または、タップ) すると、そのテキストメモが付与された位置へプロキシ映像がシークします。

“×” ボタンで付与済みテキストメモを削除することができます。

<NOTE>

P2カム本体が記録、再生などでP2カードにアクセスしている場合やサムネールを表示している場合は、メタデータの変更はできません。

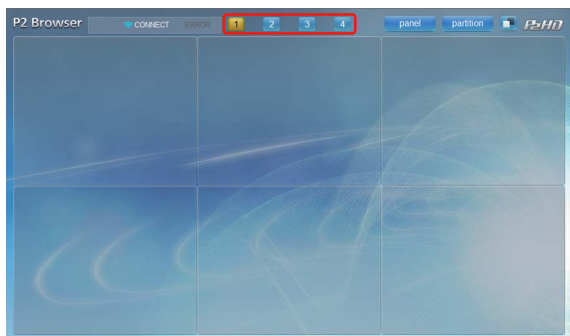
12. Error Listパネル

無線LAN接続が不安定な場合など、意図したメタデータの付与に失敗する可能性があります。本画面では、それらの付与に失敗した履歴を表示します。


無線LAN接続が安定な状態に戻ったとき、“submit” ボタンで失敗した操作が再実行されます。

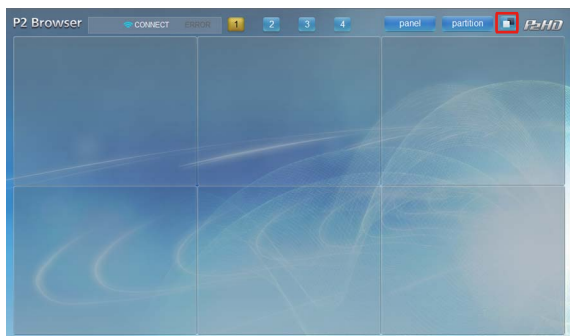
レイアウトを保存する／切り替える

「P2 Browser」は4種類のレイアウトが別々に保存できます。上部に配置された“1”～“4”までの4つのボタンで切り替えることができ、それぞれに別々のレイアウトが保存できます。



トーンを変更する

“” ボタンで2つの基調の画面を切り替えることができます。周囲の状況やお好みに応じて切り替えてご使用ください。

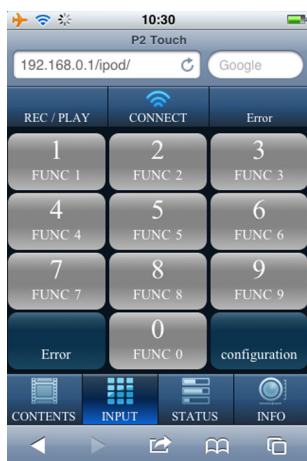


iPod touch / iPhone と接続する

WEB ブラウザからアプリを起動する

P2カムと iPod touch/iPhone のネットワーク接続設定が完了したら、以下の手順で Web ブラウザを起動します。

- 1 Web ブラウザを起動する**
ホーム画面にある [Safari] アイコンをタップします。
- 2 Web ブラウザに P2 カム本体の IP アドレスを入力する**
Web ブラウザの画面上部のアドレス入力欄に P2 カムで設定した IP アドレス（工場出荷設定：http://192.168.0.1）を入力し、P2 カムにアクセスします。
- 3 Web アプリ「P2 Browser」が起動する**
[USER NAME] と [PASSWORD] の入力画面が表示されるので、P2 カムに設定した [USER NAME]（工場出荷設定：guest）と [PASSWORD]（工場出荷設定：p2guest）を入力します。下図のような画面が表示されると接続完了です。



表示できる内容

下記 1～4 の中から選択することができます。詳細な操作説明は下記ウェブサイトをご覧ください。

日本語： <http://panasonic.biz/sav/>

英語： <http://pro-av.panasonic.net/>

1. CONTENTS パネル

P2 カムに挿入されている P2 カードに記録されたクリップのサムネール一覧を表示します。クリップを選択するとプロキシ再生画面に切り替わります。プロキシ再生画面では、再生しているクリップのメタデータとテキストメモが表示されます。メタデータはタップすることで編集が可能です。

<NOTE>

- 表示されるサムネールは記録済みクリップの最新 100 個までとなります。
- P2 カードにプロキシが記録されていない場合は再生できません。ビデオエンコーダーボード（AJ-YDX30G 別売）を搭載し、プロキシを記録する設定を行ってください。
- 複数のクリップが連結しているクリップの場合、それぞれのクリップ単位の再生になります。このようなクリップの場合、“prev”、“next” ボタンが表示されますので、それぞれのボタンを押すと、直前のクリップ、直後のクリップの再生を行うことができます。
- テキストメモの編集はできません。

- P2 カードの抜き差しや記録終了時、サムネール画面は自動で更新されません。画面左下の“CONTENTS” ボタンを押してサムネール画面を更新してください。

2. INPUT パネル

記録中のクリップにテキストメモを付与することができます。

3. STATUS パネル

以下のような P2 カム本体の各種の状態が表示されます。

タイムコード

P2 カムが保持しているタイムコードジェネレータの値を表示します。

記録フォーマット

P2 カム本体のシステムモードやビデオコーデック、撮影記録レートなどが表示されます。

メディアの残量/使用量

P2 カムに装填された P2 カードの残量や使用量を表示します。残量（“remain”）と使用量（“used”）を切り替えて表示することができます。表示単位は「分」です。

バッテリー残量

P2 カムのバッテリー残量が表示されます。

メタデータ設定

クリップに付与する各種メタデータが一覧で表示されます。それぞれのメタデータをタップすることで設定内容を変更することも可能です。変更した値は、次に記録を開始したクリップから反映されます。

プロキシストリーミング

P2 カムで撮影中の映像が、確認できます。

<NOTE>

- P2 カム本体に、ビデオエンコーダーボード（AJ-YDX30G 別売）が必要となります。プロキシストリーミング対応するための P2 カム本体の設定は、AJ-YDX30G の取扱説明書を参照してください。
- P2 カム本体で再生している場合や、サムネールを表示している場合は、プロキシストリーミングによる映像確認はできません。
- P2 カム本体のストリーミングモードの設定が、HTTP モードのみプロキシストリーミングによる映像確認が可能となります（11 ページ）

リモートコントロール

P2 カムのリモートコントロール（REC 操作のみ）が可能となります。

<NOTE>

- リモートコントロール機能を有効にするには、P2 カム本体の設定が必要です。（10 ページ）

4. INFO パネル

レンズやフィルタなど P2 カムの撮影に関する設定値や状態を表示します。

<NOTE>

LENS TYPE、IRIS、FOCUS、ZOOM の値は、デジタル制御方式のレンズをご使用の場合のみ表示されます。

用語解説

用語	説明
LAN	Local Area Network の略です。会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。
DHCP (動的)	Dynamic Host Configuration Protocol の略です。 接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振る機能。DHCP サーバーの機能を持った機器がLAN内にあれば接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振ります。
Static (静的)	DHCPを使用しない接続方法です。ユーザー自身で固定のIPを設定して接続する方法です。ネットワーク管理者からあらかじめ設定値を指定されている場合は、この方法で設定します。
IPアドレス	ネットワークでデータを配送する先にあたるアドレスのことです。 IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、同一ネットワーク内で同じIPアドレスを使用することはできません。
MACアドレス	各ネットワークアダプターに固有のID番号です。 全世界のネットワークアダプターには1枚1枚固有の番号が割り当てられており、これを元にアダプター間のデータの送受信が行われます。 IEEEが管理・割り当てをしているメーカーごとに固有な番号と、メーカーが独自に各アダプターに割り当てる番号の組み合わせによって表されます。
ネットワークアドレス	IPアドレスを構成するビット列のうち、サブネットマスクが2進数で"1"を設定された部分のアドレスです。 IPアドレスが[192.168.0.1]、サブネットマスクが[255.255.255.0]の場合、[192.168.0]がそれにあたります。
ホストアドレス	IPアドレスを構成するビット列のうち、サブネットマスクが2進数で"0"を設定された部分のアドレスです。 IPアドレスが[192.168.0.1]、サブネットマスクが[255.255.255.0]の場合、[1]がそれにあたります。
SSID	Service Set ID の略です。無線LANでは、通信したいアクセスポイントであるかどうかを区別するためにSSIDと呼ばれる識別コードを設定する必要があります。一部メーカーの無線LANアダプタによっては、[ESSID] や [ネットワーク名] などと表示されている場合もあります。
WPA2	Wi-Fi Protected Access の略で、通信するデータを暗号化する方式です。 暗号キーを作成して通信する相手だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。
サブネットマスク	ネットワークでは、大きなネットワークをサブネットと呼ばれる複数の小さなネットワークに分割して管理する場合があります。その場合のIPアドレスを区切るための値のことをサブネットマスクといいます。

対応モデル

メモリーカードカメラレコーダー：AJ-HPX3100G

同梱品一覧

- 導入ガイド「はじめにお読みください」
- ソフトウェア使用許諾契約書
- 操作説明書 (CD-R)
- 「キーコードが収められた袋」*

* お客様が「キーコードが収められた袋」を開封された場合は、同梱のソフトウェア使用許諾契約に記載の内容にご同意いただいたものとみなします。

包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理してください。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

P2カム（品番：AJ-HPX3100）を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、各地域の修理ご相談窓口までお問い合わせください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

アフターサービス

■ 故障・修理・お取扱いなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて

- お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- 個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

「各地域のご相談窓口」については、下記ウェブサイトをご活用ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

©Panasonic Corporation 2011